

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2002-223672(P2002-223672A)

【公開日】平成14年8月13日(2002.8.13)

【出願番号】特願2001-25453(P2001-25453)

【国際特許分類】

A 0 1 K 89/01 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 89/01 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月9日(2008.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

スピニングリールの第 1 及び第 2 ロータアームの先端に糸開放姿勢と糸巻取姿勢の間で揺動自在に装着されスプールに釣り糸を案内するためのスピニングリールの釣り糸案内機構であって、

前記第 1 及び第 2 ロータアームの先端にそれぞれ揺動自在に装着された第 1 及び第 2 ベール支持部材と、

前記第 1 ベール支持部材から突出する固定軸と、

前記固定軸の突出端に第 1 ベール支持部材と間隔を隔てて設けられ、その頂点が前記固定軸の軸芯を基準にして前記スピニングリールの後方向かつ前記スピールの径方向外方に配置された略円錐形状の固定軸カバーと、

前記固定軸に回転自在に支持されたラインローラと、

前記第 2 ベール支持部材と前記固定軸カバーの前記頂点とに両端が挿入固定され、前記固定軸カバーの釣り糸案内側の第 1 稜線と前記第 1 稜線と前記頂点を挟んで対向する第 2 稜線とに滑らかに連結された線材製のベールと、
を備えたスピニングリールの釣り糸案内機構。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

発明 1 に係るスピニングリールの釣り糸案内機構は、スピニングリールの第 1 及び第 2 ロータアームの先端に糸開放姿勢と糸巻取姿勢の間で揺動自在に装着されスプールに釣り糸を案内するための機構であって、第 1 及び第 2 ベール支持部材と、固定軸と、固定軸カバーと、ラインローラと、ベールと備えている。第 1 及び第 2 ベール支持部材は、第 1 及び第 2 ロータアームの先端にそれぞれ揺動自在に装着された部材である。固定軸は、第 1 ベール支持部材から突出する軸である。固定軸カバーは、固定軸の突出端に第 1 ベール支持部材と間隔を隔てて設けられ、その頂点が固定軸の軸芯を基準にしてスピニングリールの後方向かつスピールの径方向外方に配置された略円錐形状のものである。ラインローラは、固定軸に回転自在に支持されたものである。ベールは、第 2 ベール支持部材と固定軸

カバーの頂点とに両端が挿入固定され、固定軸カバーの釣り糸案内側の第 1 稜線と第 1 稜線と頂点を挟んで対向する第 2 稜線とに滑らかに連結された線材製のものである。

【手続補正 3】

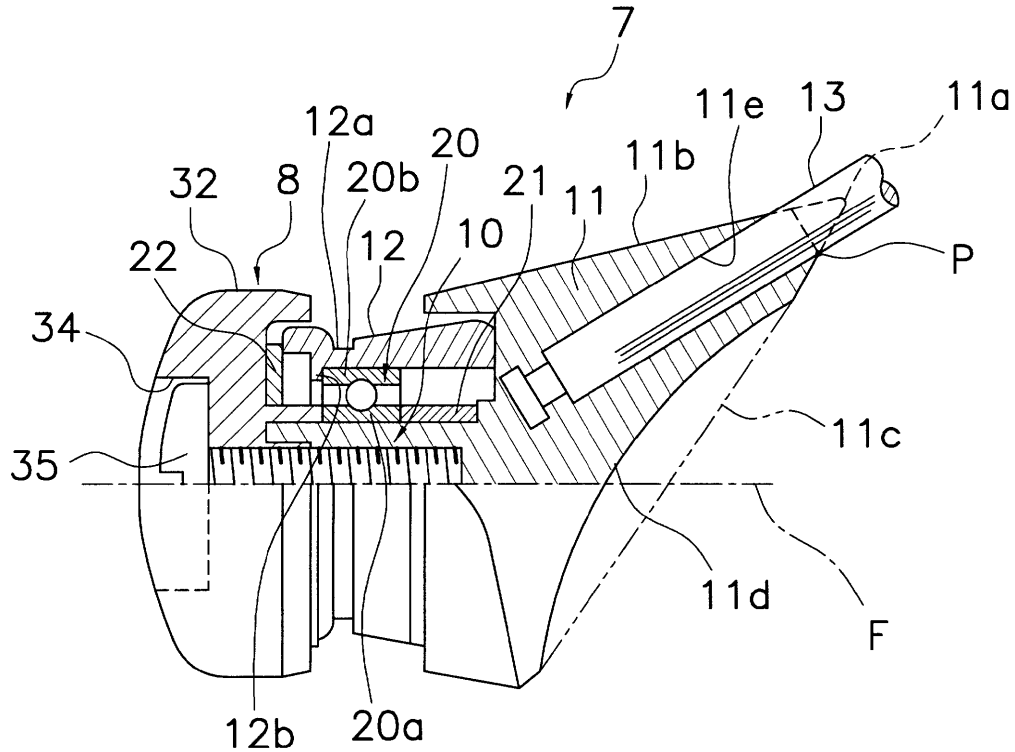
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

